

これらはすべて 認知症のリスクとなります

血圧や
血糖値が高い

週に3回以上
飲酒する

毎日が憂鬱だ

1日5000歩以上
歩かない

最近記憶力・集中力が
下がっている

睡眠不足に
なりがち

毎日コンビニで
食事をすませる



1つでも当てはまったあなたへのご提案

認知機能検査

40歳から
始める!



ブレインパフォーマンス
セルフチェックツール

各種健診のオプションとして
ご利用いただけます

検査価格: **22,000**円(税込)

認知症は早めの対応で防ぐことができます

お気軽にお問合せください



JA愛知厚生連
豊田厚生病院 健康管理センター
予約専用TEL (0120) 78-5050
平日9:00~16:30 第1・3土曜日9:00~12:00



今だけ
お得!

MCIスクリーニング検査受検後、WEBへのご登録で
選べるe-GIFT1,000円分プレゼント

選べるGIFTは



STARBUCKS® など



【受検期間】2026.3月末まで(申し込み受付2026.5月)

※ギフト券はデジタルギフトとなり、ご入力いただいたメールアドレス宛の送付となります。

『My MCIプラス』ご案内はこちらから
<https://mcbi.net/ws>

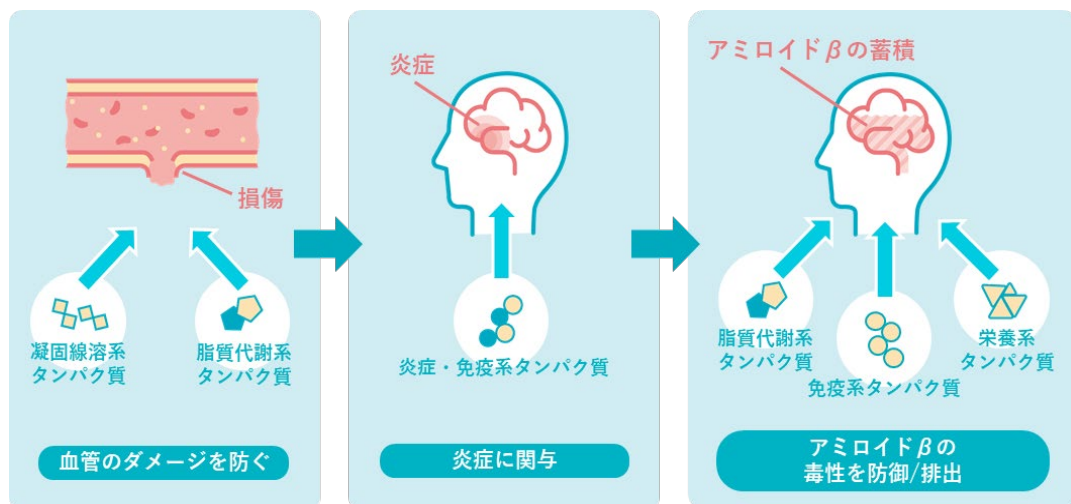
キャンペーンに関するお問い合わせ 株式会社MCBI TEL: 0120-97-9756

MCI（軽度認知障害）のお話



認知症は一度、発症すると健康な状態に戻ることが難しいといわれています。健康な状態やMCI(軽度認知障害)からの早期対応がとても大切であり、検査を受けた方は意識を変えて生活改善される方が多くいらっしゃいます。

認知症予防のためのMCIスクリーニング検査プラス



アルツハイマー病の原因の一つであるアミロイドβは、40代から少しずつ脳内に蓄積してきます。MCIスクリーニング検査プラスは、アミロイドβの蓄積を阻害するタンパク質や、アミロイドβが蓄積する前のリスクとなる血管の損傷や炎症に関連するタンパク質を調べる血液検査です。

栄養群、脂質代謝群、炎症免疫群、凝固線溶群の4つのカテゴリーからアミロイドβの溜まりやすさを総合的に評価し MCIのリスクを算出します。

検査のながれと報告レポートイメージ



少量採血！



検査結果は
4～5週間
お手元に届きます

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

総合評価

B評価 あなたのMCIリスク値 **0.88**

▼今日 ▲前日 ▼前々日

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 [MCIリスク値]

将来のMCIのリスクは低いです。健康な生活を意識的に習慣づけることでMCIのリスクを抑えることができます。

評価	リスク値	説明
A	0.00～0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51～1.00	健康的な生活を意識的に習慣づけることで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り組むほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
C	1.01～1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な日常生活を送ることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。
D	1.51～2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。もの忘れの自覚がある方はもの忘れ外来などの受診をおすすめします。

※高齢の方は一般的に65歳以上の方を指します。
※本検査は予防のための検査であり、MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。

本検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

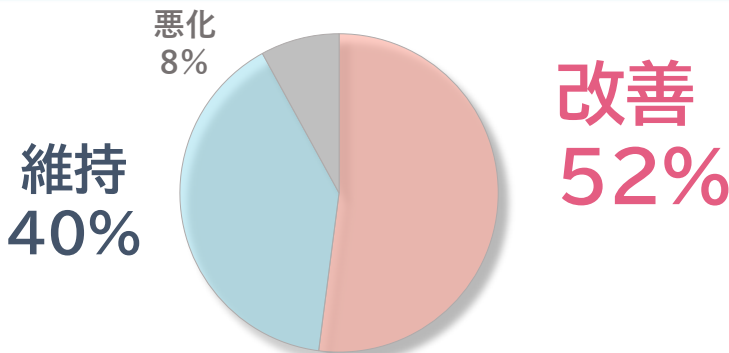
4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

カテゴリー	リスクレベル
炎症群	3.2
胎児代謝群	2.8
炎症・免疫群	5.0
腸菌代謝群	1.6

3! 検査を終えて

MCIや認知症の予防は生活習慣の見直しが一番大切と書かれています。同封の「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」を参考に予防に取り組みましょう。次回は2024年の1月頃を目安に検査を受けましょう。

MCIスクリーニング検査プラスを2回以上受診した方の
90%以上が検査結果の改善・維持しています



※MCIスクリーニング検査プラス2回受診の検査結果比較
対象: 2021年10月～2024年6月(期間中に複数回検査を受診された2,638人)

認知症予防に役立つ
パンフレットが
もらえます！



認知症の一番のリスクは加齢といわれています。

年を重ねるごとに認知症発症リスクが高くなる中で、

検査結果の「改善」はもちろんですが、

結果を「維持」することも非常に大切です。

検査結果をヒントに、生活習慣を見直して検査結果が良かった方も、

脳の健康診断として再度受診されている方が最近、増えています。



検査についての詳細はこちら

URL : <https://mci-plus.com>



＼ 知ることからはじめよう、脳の健康。／

ブレインパフォーマンスのセルフチェック



デジタルツール

のうKNOW[®](ノウノウ)は「記憶する」「考える」「判断する」などの脳のパフォーマンスをチェックするツールです。

日々の生活をより充実させるための「ブレインパフォーマンス(脳の健康度)」が注目されています。仕事やスポーツで自分のパフォーマンスを意識するように、自身の脳のパフォーマンスについても考えてみませんか。

これは、「人生100年時代」を楽しく健康で暮らし続けるためにも大切です。まずは、できることから少しずつ始めてみましょう。



「私はまだまだ大丈夫!」と思っているあなたも、「のうKNOW」(ノウノウ)で現在の脳の健康度をチェックしてみましょう。

デジタルツール

「のうKNOW」(ノウノウ)について

パソコン・タブレット・スマートフォンで4つのテストを行うことにより、あなたのブレインパフォーマンスを知ることができます。画面で表示されるトランプカードが自動的にめくられるので、「はい」か「いいえ」で答えて、チェックすることが可能です。

脳の反応速度チェック



カードがめくられたら「はい」を押すことで反応の速さをチェックします。

注意力チェック



カードが赤の場合は「はい」、黒の場合は「いいえ」を押すことで注意力をチェックします。

視覚学習チェック



表示されたカードが以前に出てきたものと同じかを答えることで視覚記憶力をチェックします。

記憶力チェック



めくられたカードが直前のものと同じかどうかをみるにより、一時的に必要な記憶の保持ができていないかをチェックします。

※画像はイメージです。

ここがポイント!

操作はカンタン!



- パソコン・タブレット・スマートフォンで手軽に実施!
- チェックにかかる時間は、約15分!
- 自分ひとりでチェックが可能!(セルフチェック)

豊富な実績



- 55か国以上で活用、100言語以上に対応!*
 - 同年齢の平均と比べた、脳の健康度を確認!
 - 定期的にチェックすれば、以前の結果と比較も可能!
- ※「のうKNOW」開発の基となったCogstate Brief Batteryにおける実績

当該プログラムは、疾病の診断又は予防に使用されることを目的としたものではありません。

お問い合わせや「のうKNOW」(ノウノウ)について、詳しくは各企業や自治体、施設などの担当者へご連絡ください。

